



【11月の利用状況】	
貸出冊数	2,532
入館者数	2,293
貸出冊数	3,835
入館者数	5,651



**1月の特集コーナー**  
「新島八重とその時代」  
「幕末から昭和」



2013年の大河ドラマは、幕末のジャンヌ・ダルク、ハンサム・ウーマンと呼ばれた新島八重の生涯を描いた「八重の桜」が放送されます。そこで、1月特集は、新島八重や彼女が生き抜いた「幕末から昭和初期の激動の時代」や同時代の女性について知ることが出来る小説などの関連本を紹介いたします。  
児童特集では、百人一首の本やお正月の絵本など、季節の本も用意しています。

- ★一般書コーナー
- 「新島八重 おんなの戦い」 福本 武久／著 角川書店
  - 「幕末銃姫伝」 藤木 ひとみ／著 中央公論新社
  - 「ふおんしいほるとの娘」上・下 吉村 昭／著 新潮社
- ★児童書コーナー
- 「新島八重」 楠木 誠一郎／著 ポプラ社
  - 「百人一首大事典」 吉海 直人／監修 あかね書房
  - 「お正月さん」 奥田 継夫／著 ポプラ社

## 新刊案内

★ 一般書 ★

- 「江戸時代」 武家政治 vs 庶民文化 赤坂 治績／著 朝日新聞出版  
庶民の文化が武士の文化を凌駕した江戸時代。その文化の「華」が歌舞伎だ。タテマエよりホンネ、儉約よりぜいたく……。幕府権力のたびたびの弾圧が、歌舞伎を総合芸術へと昇華させた。歌舞伎の変遷から江戸時代の歴史をたどる。
- 「賢人の話し方」 田原 総一郎、中谷 彰宏ほか／監修 幻冬舎  
論理的で聞きやすい、初対面でも印象に残る。成功を決めるひと言とは？評論家・田原総一郎、作家・中谷彰宏、アナウンサー・福澤朗ら5人が、本音で語り合う、褒める、声の出し方・伝え方といった話し方のテクニックを伝授。

★ 児童書 ★

- 「あそこへ」 マリー・ルイズ・フィッツパトリック／作・絵 フレーベル館  
いつになったら、たどりつけるのかしら。「あそこはこちらへ」っていう看板があるの？「あそこ」へいくのに、どれくらいかかるかな……。まだ見知らぬ「あそこ」をめざす女の子の心の冒険を描く絵本。ピスト最優秀児童図書賞受賞作品。
- 「知ってびっくり！日本の歴史のお話」前編 田代 脩／監修 学研教育出版  
大昔のごみ捨て場を発見！くじ引きで決まった將軍様！日本の歴史をわかりやすい内容にした、気軽に読める読み物。前編は、旧石器時代から室町時代までの28のお話を収録する。

## 展示コーナー

「町内小中学校 読書活動の取り組み」

今年の小・中学校の読書についての様々な活動の取り組みをパネルにして展示します。どの学校の児童・生徒も工夫を凝らした活動をしていた様子がかえります。

■開催期間 1月4日(金)～2月15日(金)  
■会場 うみ・みらい館 展示コーナー  
※町内各小中学校・町立図書館共催



昨年の様子

お知らせ

●年末・年始休館のお知らせ●  
12月29日(土)～1月3日(木)まで休館します。  
休館中は、本や雑誌などの返却は、返却ポストをご利用ください。CDやDVDは破損することがありますので、開館後カウンターへお願いします。  
なお、返却期限が変更になっていますので、ご注意ください。  
1月4日(金)より通常どおり開館します。

●ブックリスト「冬号」ができました●  
「子どもの本だな」(幼児・児童用)と「ふみの本棚」(中高生・大人用)の冬号ができました。図書館で配布しています。毎月23日の「宇美町読書の日」に読む本の参考にしてください。  
※町立図書館のホームページでも見ることができます。

# 新 ぜっくボラン 第55号

このコーナーでは、ボランティアなどの公益的な町民活動をしている人や団体を応援し、その「はじめの一歩」のきっかけになるような記事を掲載しています。

**親子ミニ防災教室in ボランティア交流会**  
**親子ミニ防災教室 スキルアップ講座を開催しました**



この講座は両日とも、富山万里子氏(NPO法人男女・子育て環境改善研究所事務局長)に講師として来ていただきました。親子ミニ防災教室は、福岡県とNPOの協働事業で行われており、本年度県内40か所で開催されています。また、この活動は防災士さんなどの防災ボランティアや託児ボランティアとも協働で行われています。

10月5日(金)の親子ミニ防災教室は、子どもと一緒に楽しく防災が学べる講座で、エプロンシアターを見たり、防災の備えチェックをしたり、すぐに家庭で役立つ防災の知恵をたくさん得られる講座でした。  
お茶を飲みながらのボランティア交流会では、参加団体の活動の様子を聞き、ふだんは会う機会のない団体の活動をお互いに知る機会になりました。

### 参加者アンケートから

#### Q、皆さんが参考になったこと

- 第1位=非常持ち出し袋
- 第2位=エプロンシアター
- 同第2位=防災チェックシート

- 非常用の水は2ℓボトルより、500mlボトルをいくつか用意しよう
- 携帯電話が使えなくなるので、家族・友人などの連絡先のメモを用意しよう…など

10月18日(木)には、さらにスキルアップ講座を開催し、エプロンシアターの仕方等、防災の知識を活かす方法を皆さんで話し合いました。  
エプロンシアターは地震編と大雨編があり、どちらも手作りです。楽しく防災の話題に参加できるように工夫されていました。  
このような活動を参考にして、災害が起こっても、なるべく少ない被害ですむように日頃から備えをし、家族や近隣の方とも話し合っておくことが大切であると学びました。



**ボランティア交流会や講座は、関心のある方ならどなたでも参加できます。**  
参加したら何かしなくてはいけないということもありません。  
次回、交流会は3月開催の予定です。ぜひ、ご参加ください。

**編集後記:** 自分の非常持ち出し袋を点検するといろいろなものが足りませんでした。現金や常備薬、保険証のコピーなども必要かも。ウエットティッシュやあめ、チョコレートもあるとよいでしょう。水も家族の人数分必要…すると袋が大きく重くなってしまいました…！そんな時、持ち出し袋はひとつではなく家の中、家の外(車のトランクなど)2、3か所に分けて置くといいそうですよ。なるほど！(K. E)

●ボランティア・町民活動支援センター「ふみうぼ」(うみハピネス内) TEL & FAX 933-1110 レイアウト・絵 ayako.m